

平成28年度 日本語教育能力検定試験 解答例

千駄ヶ谷日本語教育研究所

試験 I

問題1	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	4	2	2	4	5	1	3	1	4	2
	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)					
	3	3	4	5	2					
問題2	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)					
	1	4	2	3	1					
問題3	A					B				
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
	2	1	3	2	1	4	2	3	1	4
	C					D				
	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
	1	4	4	2	3	3	1	2	2	4
問題4	問1	問2	問3	問4	問5					
	4	1	4	4	2					
問題5	問1	問2	問3	問4	問5					
	4	2	2	1	4					
問題6	問1	問2	問3	問4	問5					
	3	2	3	3	1					
問題7	問1	問2	問3	問4	問5					
	4	1	2	2	1					
問題8	問1	問2	問3	問4	問5					
	2	4	3	1	4					
問題9	問1	問2	問3	問4	問5					
	4	1	2	1	3					
問題10	問1	問2	問3	問4	問5					
	4	2	1	3	2					
問題11	問1	問2	問3	問4	問5					
	2	3	1	2	1					
問題12	問1	問2	問3	問4	問5					
	3	3	4	2	3					
問題13	問1	問2	問3	問4	問5					
	1	3	3	3	4					
問題14	問1	問2	問3	問4	問5					
	3	2	1	1	3					
問題15	問1	問2	問3	問4	問5					
	1	4	3	2	4					

試験 II … 略

◆ この解答例は千駄ヶ谷日本語教育研究所で作成したもので、検定試験実施団体から公表されたものではありません。

試験Ⅲ

問題1	問1	問2	問3	問4	問5
	1	3	4	2	3

問題2	問1	問2	問3	問4	問5
	3	4	1	3	2

問題3	問1	問2	問3	問4	問5
	4	1	2	2	3

問題4	問1	問2	問3	問4	問5
	1	2	3	4	1

問題5	問1	問2	問3	問4	問5
	1	4	4	4	3

問題6	問1	問2	問3	問4	問5
	2	2	1	3	1

問題7	問1	問2	問3	問4	問5
	4	3	1	2	2

問題8	問1	問2	問3	問4	問5
	2	4	3	1	3

問題9	問1	問2	問3	問4	問5
	1	1	4	2	3

問題10	問1	問2	問3	問4	問5
	4	3	2	2	3

問題11	問1	問2	問3	問4	問5
	1	1	2	1	4

問題12	問1	問2	問3	問4	問5
	1	4	3	2	1

問題13	問1	問2	問3	問4	問5
	3	4	4	4	3

問題14	問1	問2	問3	問4	問5
	2	2	3	4	2

問題15	問1	問2	問3	問4	問5
	2	3	4	3	4

問題16	問1	問2	問3	問4	問5
	2	3	1	4	4

◆この解答例は千駄ヶ谷日本語教育研究所で作成したもので、検定試験実施団体から公表されたものではありません。

試験Ⅲ

問題17

【解答例1】

お母さんのこの発言の背景には、自分に関するものを低めて言うことが、相手に敬意を表すことになるという日本の謙遜の文化が関係している。つまり、日本では控えめな態度や表現が好まれるのだ。例えば、日本ではお土産を渡すとき、いくら高級なものだとしても、高級なものだとは言わず、「お気に召すと嬉しいのですが…」などと言う。もし、高級なものだと言って渡した場合、自慢をしているように受け取られる恐れがある。また、お返しをしなければならないという相手の心理的負担にもなりかねないからだ。

恐らく、学生が日本で生活する中で、好意に対する誤解を与えかねないという心配が、お母さんに生まれたのだろう。そのため、異文化理解として断言したと推測できる。

そこで、学生には、日本の謙遜の文化について説明したうえで、贈り物をする際には「お気に召すと嬉しいのですが…」など、相手への配慮を示した言い方をするといいとアドバイスする。(399字)

【解答例2】

お母さんのこの発言の背景には、日本の謙遜の文化があると思われる。例えば、日本人はお客様に料理をふるまうときに、「たいしたものではありませんが」などと言う。自身の提供するものに謙遜表現を使う。これは相手への心理的な負担を軽減する気遣いである。たとえ豪華な食事であっても、たいしたものではないから気にしないでほしいという、相手への配慮である。これらの謙遜表現は日本語においてほぼ定型化している。これが謙遜の文化である。

学生には、まずこの謙遜の文化を説明する。だから高級なものだと言ってお土産を渡したら、相手に心理的な負担をかける可能性があるかと伝える。心理的な負担とは、例えば、高級なものなので、お返しをしなければならないと相手に感じさせる負担である。

次に日本人にお土産を渡すときの表現を示す。「ささやかなものですが」、「心ばかりですが」などの謙遜表現を使ってお土産を渡せば問題ないとアドバイスをする。(396字)

◆この解答例は千駄ヶ谷日本語教育研究所で作成したもので、検定試験実施団体から公表されたものではありません。

◆今年度の試験についての感想◆

これまで出題されてきた問題に比べ、基礎的な内容・用語を問う問題が多かった。また、出題範囲の偏りも感じられなかった。未受験の、養成講座受講生は、前回まで出題された問題を見てため息をつく受講生がほとんどだった。しかし、今回は、問題は難しいけれど、頑張っただけで勉強すれば手が届きそうだと言っている受講生もいた。今年度の検定は「基礎項目を優先的に問う」という検定の出題方針に近づいた問題だったと思う。